

# クロスアップ 日★光★人



よしはら **吉原** かずなり **一成**さん 針貝 在住

冬の室内を華やかに飾る代表的な花といえばシクラメン。春先まで楽しめる鉢植えです。針貝でシクラメンをはじめ、ペラルゴニウムやアジサイなどを栽培している吉原一成さんを紹介します。

もともと農家で農業後継者であった吉原さんが、米作りから園芸に転作したのは32年前。「始めたころは、栽培技術の未熟さと、病害虫などに見舞われ、試行錯誤の毎日でした」と振り返ります。

平成21年、吉原さんが育てたシクラメンの品種「ヨハンシユトラウス」が、全国花き品評会の鉢物部門(シクラメン)で最高賞の農林水産大臣賞を受賞。15年ほどかけ

て行ってきた品種改良が高く評価されました。吉原さんに受賞について伺ったところ、「ヨハンシユトラウスは赤くてシクラメンらしいシクラメンです。受賞した年は自分の育てるシクラメンがその年の気候に合い、出来が良かった」と話してくれました。

シクラメン栽培は、水やりや肥料の調節、病害虫の防止など何よりも日々の管理が大切で、その日の状態に合わせて手入れすることが肝心だそうです。10月下旬ごろになると、夜はビニールハウス内を加温して、11月中旬から12月下旬の出荷に備えます。

シクラメンの魅力を伺ってみると、「冬に向かって草花が少なくなる中、クリスマスやお正月に飾ることができ、上手に管理すれば5月ぐらいまで楽しめます。鉢花は、自分なりに水や肥料を与えて



花を咲かせるなど、育てる楽しみもあります」と答えてくれました。現在は、1年ほど千葉で研修してきた息子さんが一緒に花園を引っ張ってくれているそうです。

「親子で力を合わせ、もったいものを作っていききたい。家族やスタッフと一緒にできることもありがたいです」とうれしそうに話してくれました。

シクラメンは、株がしつかりしていて、花立ちがよく、後から咲くつぼみがたくさんある葉枚数の多いのが良いそうです。

この冬は、赤やピンクのシクラメンで部屋を飾ってみませんか。

## 紹介したい人、サークルを募集しています!

クロスアップ日・光・人では、活躍している人、サークルを紹介しています。このコーナーで紹介したい人やサークルの情報がありましたら、ぜひお寄せください。なお、自薦、他薦は問いません。

※掲載にふさわしくない活動内容が含まれている場合、紹介をお断りすることがあります。

連絡先及びくわしくは  
秘書広報課 広報広聴係  
☎(21)5135

# みんなの投稿でつくる 地域NEWSリレー



## 10年ぶりの交流会

藤原女性の会(田村泰子会長)は、渋谷区婦人団体連絡協議会と10年ぶりに交流会を行いました。

今年50周年を迎えた渋谷区婦人連との活発な意見交換をした後、お互いの音頭を交換。渋谷区婦人連は渋谷音頭を、藤原女性の会は日光和楽踊りを披露。最後は一緒に歌い踊り、楽しいひとときを過ごしました。



文・写真: 藤原総合支所総務課

## 子ども通訳ガイド体験

市内在住の中学・高校生6名は、日光善意通訳クラブと、ちぎぎボランティア通訳ガイド協会の協力のもと、日光を訪れた外国人観光客に、地域の魅力などを英語で案内する子ども通訳ガイドを体験しました。生徒たちは、東武日光駅と郷土センターで観光案内をするなど、日光ならではの貴重な経験ができました。



文・写真: 観光交流課

## 感謝の気持ちをシクラメン贈呈

千葉県から栗山地域の全世帯と小学校などへメッセージを添えてシクラメンが贈られました。これは湯西川ダム上下流交流事業の一環として、千葉県の貴重な水源地である栗山地域に友好と感謝の気持ちを伝えるものです。

19回目の今年は、千葉県内の農業高校6校の生徒たちが栽培したシクラメン80鉢が贈呈されました。



文・写真: ダム地域振興課

## 育てよう一人一人の人権意識

宇都宮地方事務局日光支局と日光人権擁護委員協議会は、日光そばまつり会場内で人権啓発活動を行いました。

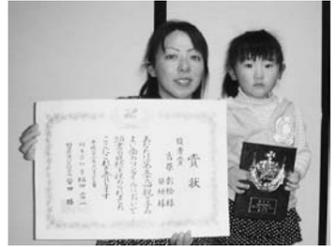
今年は重点目標を「みんなで築こう人権の世紀」とし、日光杉でできた割りばしやティッシュの配布を行いました。またイメージキャラクターラクターも登場し、子どもたちに「思いやりの心」の大切さを呼び掛けました。



文・写真: 人権・男女共同参画課

## 親子のよい歯のコンクール

3歳児健康診査を受けた虫歯が無く健康な親子を対象に行われる県コンクールで、吉原彰絵さん、梨桜ちゃん親子が優秀賞を受賞しました。彰絵さんは定期的にお口の健診を受け、梨桜ちゃんの仕上げ磨きをかかさないうです。自分で行うセルフケアと、歯医者さんにお願するプロケアが健口づくりにつながりました。



文・写真: 健康課

## デートDV防止啓発ティッシュの寄贈

女性と女性の生活の向上を目指し活動を行っている国際ボランティア組織「国際ソロプチミストアメリカ日本東リジョン日光」から、デートDV防止啓発用ティッシュ1万個が市に寄贈されました。ティッシュは市内の中学・高校生に配布するほか、2月に開催される男女共同参画社会づくりフォーラムで配布予定です。



文・写真: 人権・男女共同参画課

## 地域のニュースを募集しています!!

このコーナーでは、皆さんから記事と写真の投稿を募集しています。

**募集する記事** 自治会の催しや、地域のちょっとした珍しい出来事、心温まるエピソードなど

※内容によっては掲載できない場合があります。

**応募方法** 記事に写真を添え、住所・氏名・電話番号を明記の上、持参または郵送、メールでご応募ください。

○記事: 140字程度(題名、日付、場所を別に記載してください)

○写真: 紙焼きしたもので、デジタルデータどちらでもOKです。ただし、携帯電話のカメラで撮ったものなど、大きくした際に画像が荒れてしまうものは不可とします。

**あて先** 〒321-1292  
今市本町1番地  
日光市役所 企画部  
秘書広報課 広報広聴係  
**メール** hishokuhou@city.nikko.lg.jp